

ふるさと教育 取組事例

学校名	大田市立大田西中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な 学習の時間	「世界遺産からSDG sを学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 銀山資料館 館長 ・ 石見銀山ガイドの会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石見銀山の歴史や世界遺産として登録された経緯について学ぶとともに、「持続可能な社会」を築いていくために必要なことについて理解する。 ・ 世界遺産「石見銀山」とSDG sとの関連を意識させた銀山学習を通して、ふるさとの魅力を再認識し、地域の課題や現状に基づいた提案をグループごとにまとめ、発信していく。 		
<p>1 取組の概要</p> <p>【事前学習】</p> <p>○ 「石見銀山学習」・「SDG s」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 銀山学習の目的とSDG sと関連させて学習していく意義を伝えることで、ふるさとの魅力や地域の課題を身近に感じ、学習へ意欲的に取り組む態度を育てる。 ・ SDG s スゴロク、『NHK for school』の視聴。 <p>○ 世界遺産「石見銀山を学ぶ」「石見銀山に学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界遺産「石見銀山」について、小学校で既習事項をもとに、さらにSDG sの視点から考えるきっかけとするため、いも代官ミュージアム 仲野館長に講演していただく。 ・ 決められたテーマについて資料等を使い事前学習(調べ学習)を行い、現地学習に備える。 ・ 現地学習に向けて学びたいことをまとめる。 <p>○ 「SDG s ミニ新聞をつくろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 17のSDG s テーマから3つのテーマを選んで、図書館で調べ学習を行い、ミニ新聞にまとめる。 ・ 17のテーマから8つのテーマに絞り、各テーマを担当するグループ(1班5～6人の8グループ)に分ける。 ・ グループごとに現地学習で学びたいことやスタッフへの質問を考える。 <p>【現地学習】</p> <p>○ 「代官所ゾーン」と「武家・町屋ゾーン」に分かれて現地学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドの方の説明を聞きながら、各自が設定したテーマについて調べる。 ・ 事前学習で生まれた疑問や質問をスタッフの方にインタビューをする。 <div style="text-align: right;">  </div> <p>【事後学習】</p> <p>○ 調べた内容をまとめ、テーマごとの発表。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各テーマで調べたことやSDG sを達成するために自分にできること・取組を、文化祭においてプレゼンテーションの形で発表し、地域や全校生徒に発信する。 ・ お互いの発表を聞いて、自分のテーマとの共通点や新たに分かったこと、提案できることなどを振り返りシートに書く。(個人の振り返り) 			

* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)



2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

○世界遺産「石見銀山」の歴史、価値について理解を深め、より詳しく世界遺産「石見銀山」について知ることができた。

○調べ学習やレポートづくりを通して、情報収集能力や表現能力を育むことができた。

(学力育成の視点から)

○講師の話の聞いたり、フィールドワークでのインタビューをしたりすることとおして、生徒一人一人が自分事として深く考えることができた。また、学んだことや調べたことをプレゼンテーションとして発表する活動を取り入れることで、学習全体をとおして、探究の過程を意識した学びを行うことができた。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

○体験活動やフィールドワークを通して、実際に体験すること、実物を見て調べることで、石見銀山を身近に感じられ、その大切さに気づくことができた。

○世界遺産「石見銀山」についての学習を通して、ふるさとのよさを再確認し、自分の言葉で故郷の魅力を語るできるようになった。

○世界遺産「石見銀山」とSDGsとの関連を意識させることで、将来、自分が地域にどのように関わっていくべきか、どのように貢献していくかについて考え、将来のふるさと・自分をイメージすることができた。

(学力育成の視点から)

○探究的な学びを通して、自ら学ぶ意欲を高めることができた。

4 課題や今後の展望

○個々やグループのテーマについて探求していく学びは、生徒の学力育成の視点からも有意義であると考え。

「ふるさと教育」を計画的、体系的にさらに計画する必要性を感じている。

* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)